

災害時の情報伝達手段は？



津山新星会議
小椋 多

問 防災ラジオは旧津山地域の全家庭に導入されてこそ本来の目的を達成できる。旧町村部は防災無線設備を完備しており、この格差を是正することは行政に与えられた使命である。緊急告知防災ラジオの導入を5年計画で助成金をつけて取り組んでいるが、導入目標・実績・導入率は。

答 旧津山地域全世帯の50%、1万8千台の設置目標に対し、現在2220台、普及率は6・1%である。

問 旧津山地域全戸3万6千世帯に配備し、電波が悪い地域にアンテナをつけても5億円もあれば、全戸配備できるのでは。

答 一般世帯への普及は目標に遠い状況である。連合町内会の協力を得ながら制度活用を市民に働きかける。



防災ラジオの全戸配備を

【その他の質問項目】
◆津山市の教育と
◆産業支援のあり方

共通投票所を設置すべきでは！



公明党
津山市議員
原 行則

問 選挙 投票率向上のために多くの人が集まるショッピングセンターなどに共通投票所を設置すべきでは。

答 大型商業施設などに共通投票所を設置することは投票環境の向上につながり、投票者の利便性を高めるものと考えられる。「経費」と「恒常的な会場確保」という課題があるので設置が可能か研究していく。

問 農業委員会 平成28年4月から農業委員会制度が改正されているが、どのように変わるのか。

答 農業委員の選出は、現在の選挙制から議会の同意のうえでの長の任命制に変わり、19名を任命する。新たに「農地利用最適化推進委員」を35名委嘱し、農家からの相談など地域に密着した活動を行う。新制度は29年7月からスタートする。



【その他の質問項目】
◆学校警察連絡室

観光津山発信！ひと声おもてなしの心を



市民と歩む会
黒見節子

問 子どもの貧困 「子どもの貧困」への取り組みは。

答 平成27年8月、12の課で「津山市子どもの貧困対策庁内検討会議」を立ち上げ、事業の分類・整理、アンケートを実施した。

介護 介護認定と変更は。

答 介護度は介護認定審査会で判定し、認定する。昨年度の認定変更申請は759件、制度改正で施設入所の減額制度は約200人の方が対象

問 観光 「観光戦略アクションプラン」の実施状況は。

答 観光ポータルサイト「つやま小旅」製作、観光まち歩きアプリ「コシル津山」を開発し、公衆無線LAN環境を5か所整備した。観光タクシー乗務員勉強会、地域別観光ボランティアガイド養成講座を実施した。



旧洋学資料館で研修中のボランティアガイド